

【2026 年度/専門科目領域/人間コミュニケーション学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
ホスピタリティ経営と顧客価値の創造			選択	2	1	後期（集中）
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
田村 正人 他		B308	masato.tamura		水曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	（目的）本科目では、学生がホスピタリティ産業における経営戦略と顧客価値の創造について体験的に学び理解を深めることを目的とする。 （概要）国内外でグローバルに事業展開をしている企業で観光・開発事業に携わる実務家を講師に迎え、顧客満足とブランド価値の創造に必要な視点を養い実践的な経営知識を身につけられるよう授業を行う。					
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习) ☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技 ☒ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ その他（ ）					
学習上の助言	授業に関連する社会的な動向等についてニュースや新聞等を日ごろから目を通すことが望ましい。					
教科書	なし					
参考書	なし					
外部教材	なし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会人として必要な視点、考え方を理解し説明できる。					HSU(5)、HS(4)
②	会社を経営することの基礎的な知識を理解し説明できる。					HSU(6)、HS(3)
③	経営についてホスピタリティの視点から考察し説明できる。					HSU(1)、HS(1)
④	顧客の満足について、基礎的な知識を理解し説明できる。					HSU(3)、HS(1)
⑤	ホスピタリティ経営について学んだ成果を発表することができる。					HSU(4)、HS(6)
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	オリエンテーション 授業の進め方、成績評価等について。	10月2日（金） [担当] 田村正人	講義	シラバス内容を把握する。	2	
2	「人を運ぶ」って、それだけ？ 運輸業界の仕事と役割を探ってみよう。	10月9日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
3	「楽しい！」はどうやってつくられる？ アミューズメント業界を探ってみよう。	10月16日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
4	「泊まる場所」だけじゃない！ ホテル業界を探ってみよう。	10月23日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
5	自然はどうやって「体験」になる？ アウトドア業界を探ってみよう。	10月30日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
6	「また来たい！」はどうやって生まれる？ おもてなしと満足について探ってみよう。	11月6日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
7	富士急グループについて学習する。	11月20日（金） [担当] 田村正人 [講師] 古屋善正	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
8	社会人に必要なものと考え方について学習する。	11月20日（金） [担当] 田村正人 [講師] 小西貴美江	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
9	人材採用・育成の考え方について学習する。	11月27日（金） [担当] 田村正人 [講師] 未定	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
10	業種別講義 「運輸」について学習する。	11月27日（金） [担当] 田村正人 [講師] 未定	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
11	業種別講義 「アミューズメント」について学習する。	12月4日（金） [担当] 田村正人 [講師] 未定	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
12	業種別講義 「ホテル」について学習する。	12月4日（金） [担当] 田村正人 [講師] 未定	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
13	業種別講義 「アウトドア」について学習する。	12月11日（金） [担当] 田村正人 [講師] 未定	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	

【2026 年度/専門科目領域/人間コミュニケーション学科】

14	授業の振り返り		12月18日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	4	
15	授業の振り返り		12月18日（金） [担当] 田村正人	講義・演習	テーマについて予習復習をする。	6	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	60	20	0	20	100
総合力指標	知識・技術力		0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力		0	20	5	0	25
	協調性・リーダーシップ		0	0	5	0	5
	発表・表現伝達する力		0	10	5	0	15
	コミュニケーション力		0	0	5	0	10
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	0	15
	問題を発見・解決する力		0	20	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	定期試験はレポート課題を出す。 レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。		コメントを付して、Teamsにて返却する。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①	✓	プレゼンテーションを実施する。発表内容や聞き手を意識した発表ができていないか評価する。		発表後に講評および解説を行う。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業を受ける態度、取組みに対する姿勢を評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員		田村 正人 他 特別講師（富士急行株式会社.グループ）					
教員の実務経験		社会福祉士として高齢者や障害者の権利擁護活動を実践しているほか、自治体の委員として福祉計画などの仕組みづくりに携わる等、14年の実務経験がある。					
実践的授業の内容		ホスピタリティ産業でのさまざまな取組について、実務家による実践的な内容を分かりやすく学生が理解、考察ができるように授業を進める。					
そ の 他		・授業で使用する資料は原則として Teams で配布する。連絡事項を含めて注意すること。 ・講義の進行状況によってシラバス内容、授業回、特別講師等を変更することがあり得る。 ・本授業は、オンライン（Teams 等）を活用した授業回があり得るので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意すること。					

